
<学会連携>

第 27 回 日本内視鏡外科学会総会内 医工連携シンポジウム

「内視鏡外科における 3D プリンター・実態臓器モデルと医工連携」

<http://www2.convention.co.jp/jses27/ikourenkei/index.html>

今週より開催となります日本内視鏡外科学会「産学連携・医工連携」プログラム内におきまして、内視鏡外科学会 医工学連携委員会と連携し、以下の通りシンポジウムを開催致します。

学会にお越しの皆様、ぜひお立ち寄り下さい。

1. 日時 2014 年 10 月 3 日（金）9:00～12:00

* 内視鏡外科学会は 10/2～10/4 まで開催しています

2. 会場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）8 階 812

（岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 盛岡駅西口より徒歩 5 分）

<http://www.aiina.jp/access/access.html>

3. 参加費 「産学連携・医工連携」のみのご参加の方は 3,000 円でご入場いただけます。

受付はアイーナのみです。詳しくは以下 URL の 2. をご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jses27/guidance/index.html>

4. 概要

内視鏡外科手術では患者の実体モデルの有用性が指摘されています。最近普及してきた 3D プリンターは、患者個々の画像データから臓器の形状を再現することができ、注目を集めています。今回医工連携の立場から、3D プリンターによる臓器モデルの現状と今後の発展にフォーカスしました。

5. プログラム

<司会> 柏野 聡彦様 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社

谷下 一夫先生 早稲田大学

<基調講演> 内視鏡外科における 3D 臓器モデルと医工連携の重要性

森川 利昭 先生（東京慈恵会医科大学）

・生体質感造形による内視鏡手術シミュレーションとナビゲーション

杉本 真樹先生（神戸大学大学院医学研究科）

・完全内視鏡下低侵襲心臓血管外科手術への挑戦

～3次元CAD・3Dプリンターの心臓血管外科手術への応用～

山田 敏之 先生（東京医療センター心臓血管外科）

・MSCT3次元画像情報から光造形法と真空注型法を応用して作成する“超軟質精密心臓レプリカ”

ー先天性心疾患の3次元構造診断、外科手術シミュレーション、医学教育の向上をめざして

白石 公 先生（国立循環器病センター 小児循環器）

・Benefit of three-dimensional printing in the surgery: Simulation, navigation and education

志賀 淑之 先生（東京腎泌尿器センター大和病院）

・3Dプリンタによる臓器作成のための画像処理

森 健策 先生（名古屋大学）

・医療用データ（CT/MRI）における3D造形モデルの採用事例のご紹介

河野 浩之 様（八十島プロシード株式会社）

・より安価で質感のある医療シミュレータ開発と医工連携

棚橋 一成 様（タナック）

・3Dプリンターを利用した臓器・血管モデル作成

渡邊 大知 様（株式会社ジェイ・エム・シー）

▽詳しい内容につきましてはこちらのURLからご覧ください

→ <http://www2.convention.co.jp/jses27/ikourenkei/index.html>

日本内視鏡外科学会総会 総合HPはこちらです

→ <http://www2.convention.co.jp/jses27/index.html>